

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所として(児童発達支援・放課後等デイサービス)				公表日	令和7年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			個別のスペースが必要としている子が多いため、必要に応じて環境の見直しは必要だと思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		個別対応が多い日は、他事業所からの応援が必要な時がある。 利用児のバランスを見直し、利用日が重なりすぎないようにする工夫が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	都度、子どもの姿に合わせて細かく改善している。	事業所内は工夫されているが、玄関にはスロープがないため、車いす等での来所は難しい。(バリアフリー化が足りない箇所がある)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		利用児童に合わせた生活環境を整備できている。 職員間で不必要な物を確認したり整理整頓したりする事で、環境が整備され子ども達にとっても良い環境となった。	細かい箇所の掃除に関しては、毎日の掃除で行き届いていない為、改善が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		スヌーズレンルームを作る等、子ども達が落ち着ける個室を用意している。	個別のスペースが必要な時に利用できるように工夫が必要。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者様にアンケートを記入していただいている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	第三者評価は実施していないが、保護者様のアンケートがある。	把握できていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		社内研修や社外研修を受けている。 希望者には研修を受ける機会を作っている。	今年度は自発的に参加できていなかった。 次年度は参加したい。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	児童発達支援・放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	児童発達支援・放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画をもとに子どもの特性や保護者のニーズを把握し、日々の療育に関わるように心がけていました。 個別支援計画に沿って、専門的支援実施計画を作成したり、更新した内容を面談で共有したりしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	児童発達支援・放課後等デイサービス計画には、児童発達支援・放課後等デイサービスガイドラインの「提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		毎月の会議にて話し合いをしている。	意見を出しやすい環境作りの工夫が必要。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援・放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	翌日の打ち合わせの中で反省を行っている。 (送迎業務があるため) 緊急性が高い事については、その日の療育後に児発管に報告している。 改善が必要な点はすぐに改善し、療育に取り入れるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		記録を担当制にする事で、きちんと記録を取れるようにしている。	記録に関して記入する職員によって内容に差がある。定期的に児発管が確認していかねばいけない。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	【放課後等デイサービスのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	8			行っているが、利用日数が少ない児童は経験できていないことがある。
	25	【放課後等デイサービスのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		自由遊びの時には自己決定して過ごせるようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		関係機関との連携を実施している。	
	28	【児童発達支援のみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			情報共有は行っているが、相互理解という点では難しさを感じている事があるため、伝え方など工夫が必要だと感じる。
	29	【放課後等デイサービスのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	30	【児童発達支援のみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		放課後等デイサービスへの移行支援はできている。 小学校の先生が事業所を見に来ていただいている。	小学校への移行支援は出来ていない。
	31	【放課後等デイサービスのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	32	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	7		学校を卒業する子を受け入れたことがないため、福祉サービスへの移行を行ったことがありません。
	33	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5	センターが主催の研修には参加している。	把握できていない。
	34	【児童発達支援のみ】 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	3		
	35	【放課後等デイサービスのみ】 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	イベントを通して、学童の子との触れ合いなどがあります。	
36	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	自分は参加していないが、管理者・児発管が参加している。		

	37	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時や連絡ノートを活用してこまめに事業所での様子を伝えている。	連絡ノートの返却が遅くなってしまうこともあった。
	38	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		親子通所日に相談を受けることがある。親子通所日にねらいや関わり方の工夫など伝えられている。	今年度の親子通所では、保護者への研修を取り入れられずにいた。参加者は限られている。
保護者への説明等	39	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に管理者が行っている。	
	40	児童発達支援・放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	41	「児童発達支援・放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	42	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		定期的に面談を実施している。面談や連絡ノートの他に、電話、LINEでも対応している。	
	43	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	5	親子通所日に保護者様同士が交流していることがある。	保護者会の開催は出来ていない。
	44	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	45	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		ブログを活用している。	
	46	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	47	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		視覚支援ツールを活用して、意思表示やコミュニケーションと取りやすいようにしている。口答説明では理解しにくい保護者様へは、書面にて伝えるなどの工夫をしている。	
48	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		放課後等デイサービスのイベントに招待している。		
非常時等の対応	49	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	50	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		年4回の避難訓練を実施。管理者がBCPの研修を受け、職員へ社内研修で共有している。	
	51	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時に確認をしている。	
	52	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		契約時に確認をして、アレルギーがある場合は、医師から除去が必要ないと言われるまでは食事(おやつ)の提供はしていない。	
	53	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	54	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			